

伊万里

Imari

広報 **9** NO. 571
2001
(平成13年)



(伊万里津の往時のにぎわいを今に 伊万里の夏 どっちゃん祭り 8月5日)

染付秋草文皿

鍋島 1680年代
高さ 8.0 口径30.4 底径 15.3cm



今月の主な内容	特集	沖縄が教えてくれた…夏 ……2
	パブリックインフォメーション10	
	陳さんが行く ……16	
	教育と文化 ……17	
	みんなの広場 ……18	
	どっちゃん祭り ……20	
	ほがらかページ ……22	
	ほくの学校わたしの学校 23	
	スポーツ ……24	
	くらしのチャンネル ……27	

特集

沖縄が

教えてくれた

……夏



2001年 夏。
第15回伊万里サマーキャンプは、7月29日から8月5日まで沖縄を訪れました。
56年前沖縄は、戦争が多きものを奪い去り、深い^{かな}哀しみに包まれていました。現在も、その戦争のつめあとが深く残るこの地で、彼らは何を見て、何を感じたのでしょうか。



1 班



班長 池田亮太

8日間はとてもきつかった。でも班長をやった責任感が出てきたかな



レク係 松園秀平



保健衛生係 松尾陽平



配給係 岩永佐和子



配給係 古竹明日香



サブリーダー 岩橋佳子

「ありがとう」と 素直に言える

第15回を迎える『伊万里サマーキャンプ』。今回の行く先は沖縄本島と、本島からフェリーで1時間余りの距離にある慶良間諸島の渡嘉敷島です。7泊8日の研修に、自分についてはいけるだろうか、うちの子どもは大丈夫だろうか、役員、家族それぞれに一抹の不安がよぎります。そんなみんなの気持ちを振り払うかのように晴れ上がった7月29日、その当日はやってきました。

こうやって研修に参加できるのは多くの皆さんののおかげです

ようやく、しらじらと夜が明け始めた早朝6時、見送りの家族の



あいさつする松尾真介団長

人たちに見守られ、団員をはじめとしたサマーキャンプ一行82人は、市役所玄関前に集合しました。

出発式で、今回の一行の責任者である松尾真介団長が「今の時代は、外に出なくてもテレビやパソコンからいろいろな情報が入手できます。しかし、実際の場所や場面に飛び込んでみないと、ほんとうのことはわかりません。皆さんはいろいろな経験をしてみてください」とあいさつをしました。

また見送りの人を代表して前田和茂教育長は「深く心に残る思い出をたくさん作ってください。ひと回りも、ふた回りも大きくなって皆さんが帰ってくるのを楽しみにしています」と述べました。

最後に団員を代表して富永亜希さん（南波多中1年）が「わたしたちがこうやって研修できるのはお父さん、お母さんや、多くの皆さんののおかげです。皆さんありがとうございます。わたしたち団員は、沖縄での8日間で多くのことを学んできたと思います」と力

※注 一行とは、団員61人、団長、副団長ほか団員の指導をするインストラクター14人、その補助をする高校生のサブリーダー7人です。

強く宣誓。みんなから大きな拍手が送られました。

自分は何もしなくても、周りの誰かがしてくれるだろうといった甘えからか、してもらって当たり前という考え方を持つ人もいます。しかしどんな時でも、自分を支えてくれる人に、感謝の気持ちを忘れない。ありがとうと素直に言える。『平和』とは、こんなささいな心配りで守られているのではないのでしょうか。

出発式を終え、バスに乗り込む団員たち。それを不安そうにまなざしで見送る親たち。沖縄では、何が待っているのだろう。どんな出会いがあるのだろう。みんなの期待と不安を乗せて、さあ、伊万里サマーキャンプ『オレンジ軍団』の旅立ちです。

メモを見ながら、緊張の中宣誓する富永亜希さん。君の今の気持ちはしっかりとみんなに伝わったよ



感謝の気持ちは
忘れない

特集 沖縄が教えてくれた……夏



生活係 田中健斗



記録係 森 遊



レク係 山口文香



副班長 松添美由紀

初めはみんなの名前も知らなかったのに、言うことを聞いてもらえず苦労しました

2 班



班長 水田賢宏

班をまとめるつらさ
わかりました。でも
みな協力してくれま
した



レク係
岡本裕人



配給係
中尾亮介



保健衛生係
田中郁奈



配給係
松尾志津華



サブリーダー
原 奈央

自分の殻から一歩 踏み出す勇氣

一行を乗せた飛行機は、福岡空
港を飛び立ち一路沖縄へ。中には
飛行機に乗るのが初めての子ども
もいて、みんな心なしか緊張気味
です。朝早かったせいも、機内
は時間がたつにしたがつて、だん
だん眠ってしまう子が多くなって
いきました。着陸体制に入るアナ
ウンスに目を覚ますと、眼下は透
きとおるような青い海。もうすぐ
着くぞという安ど感と、海の色
すばらしさに機内はしばし歓声に
包まれていました。

いぶん打ち解けて、なごやかな雰
囲気になっていました。海も最初
は穏やかで、フェリーの船上では、
客室でランプに興じるもの、デ
ッキに出ておしゃべりするもの、
それぞれが思い思いに時を過
していました。

そうこうしている内に、風が出
始め、雨も降り出してきました。
海はうねりを見せ始め、事前に船
が揺れるから気をつけるようにと
の注意は聞いていたのですが、聞
きしに勝る横揺れ、縦揺れに船酔
いでダウンする子どもが続出し
ました。

やっとの思いで渡嘉敷島に上陸
した一行は、最初の研修先である

「国立沖縄青年の家」に落ち着きま
した。渡嘉敷島は、南北9キロ、
東西2・5キロで、沖縄本島の西
方に浮かぶ慶良間諸島の中でいち
ばん大きな島です。サンゴ礁が島
の回りを取り囲み、透明度50メートルを
誇る美しい海に抱かれた自然の宝
庫です。ここでは、4日間にわた
り本館と海洋研修所に分れて、昼
間は主に全体活動、夜は班別でと
いろいろな活動を行います。

団員たちは、ほっとする暇もな
く、海洋研修所での最後の日に行
う、キャンプファイアの出し物の
練習にとりかかります。事前研修
の時から、班で何をやるか話し合
ってきたのですが、班によっては
ここに来てはまだ、話しがまとま
らないところもあります。



夜遅くまで話し合いが続く。はたしてどんな出し物になるのでしょうか



生活係
原 圭祐



記録係
吉村亜沙美



レク係
黒川紗希



副班長
前川智美

整理がきちんとできるよ
うになり、みんな成長した
なと思いました。班員の心
がひとつになった気がしま
した

3 班



班長 松尾崇史

どうしたらまとめられるだろうと悩みました。班長はたいへんでした。



レク係 山崎竜治 配給係 溝江貴大 生活係 八尋あかね 配給係 佐古希望

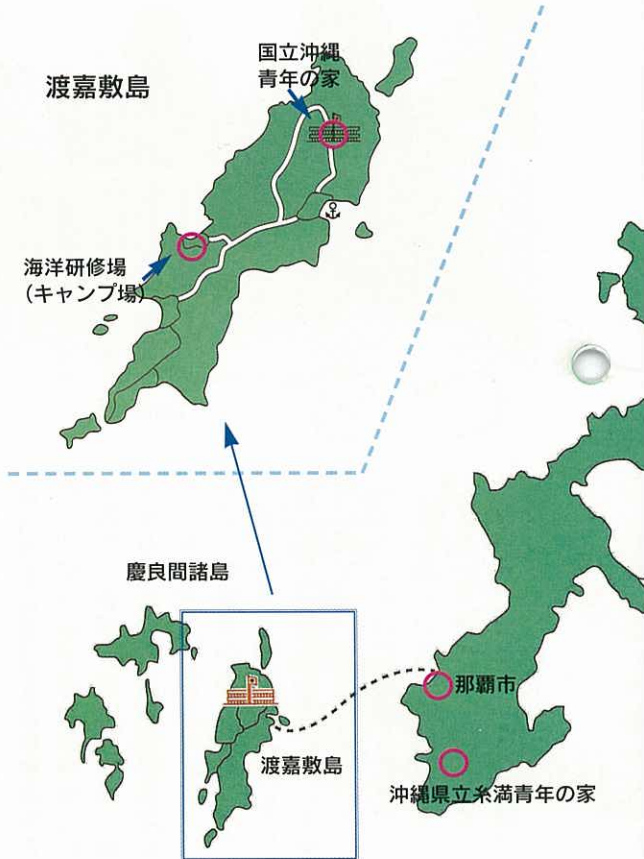


サブリーダー 堀田大資

みんなが仲良くなると団体活動は楽しいものです

長い一日が過ぎ、沖縄での最初の夜が明けました。昼間の研修をひととおり終えると、夜はまた出し物の練習です。さてきょうはどうだろうと見ていると、うって変ってすでに出し物の練習に入っ

住んでいる地域が違う、通っている学校が違う、班員はそれぞれが見ず知らずの他人の集まりです。それぞれの役割は決まっています。自分の仕事はこなすのですが、こ



寝食をとむにするというだけで、こも変わるものなのでしょう。これだけの短期間に打ち解け合うなんて大人の世界ではなかなかできません。変なこだわりやプライドが邪魔します。完全に子どもたちの力に脱帽です。自分の殻に閉じこもっていたらなかなか仲良くなれない。自分の心を開いてこそ、相手も心を開いてくれる。

います。踊りを練習している班、劇のせりふ合わせをしている班、各班それぞれがひとつにまとまり出しました。失敗してはやり直し、みんなで注意し合い、和気あいあいの雰囲気です。研修所の体育館や広場はステージに早変わり。あちらこちらで夜遅くまで笑い声が響いていました。

自分たちの班の練習風景を撮ってくれと子どもたちが言うてきました。それだけ楽しかったのでしょう



忘れられない仲間がいる

特集 沖縄が教えてくれた……夏

その一步を踏み出す勇気が、みんなの心に連帯感を生み出したのです。ある団員がふともらした「団体活動は恥ずかしいと思っていましたが、みんなが仲良くなれば楽しいものです」という言葉が印象的でした。この経験で、子どもたちはひと回り大きく成長した気がします。

言葉が違う、習慣が違う、文化が違う。グローバル社会とよく言われますが、自分の心を閉ざしてはなかなか進展しないのではないのでしょうか。心を開き、相手と相対し、相手のことを理解しようと努力する。このことが『平和』を築いていく一歩のような気がします。

列の乱れをいつも注意されていたので、整列に気を使いました



副班長 立石裕美



記録係 前田 健 保健衛生係 池田百花 レク係 松尾樹里

4 班



班長 古賀峻介

うれしかったのは班長の責任が果たせてみんなにほめられたことです



レク係 前田勇希



保健衛生係 松本里恵



配給係 大石真紗子



配給係 田中順也



サブリーダー 前川 渚



グラスボートに乗り、さあサンゴ礁探検だ！

この海が訴える 自然のたいせつさ

みんな沖縄にあこがれを持ってこの地を訪れています。それは、何といっても美しい海です。

ここ渡嘉敷島は、その沖縄の中でも最も美しい海を持っています。一行が、2日間野外生活を送った海洋研修所の目の前は、透きとおるマリンスプルの海です。8月1日、きょうは海洋研修の日です。

海の中が見える20人乗りの「グラスボート」に乗ったグループと、一人で捕まって泳ぎながら海の中を見る「スーパーフLOAT」のグループに分れ、さっそく海へ。初めて見る青や黄色のサンゴにみんなは歓声を上げていました。

この海は昔と少しも 変わっていません

美しいサンゴ礁を間近に見ながら団員の一人がこう言いました。「伊万里の海もこんなにきれいだったらしいのになあ」。この美しい海を見て、自然のたいせつさ、環境を守ることの重要さが団員の心にいつしか芽生えたようです。海洋研修所の職員の一ひとりが、一行が研修所を去る時にこう言いました。「自分は兵庫県の出身で、この渡嘉敷に来て12年になります。この海はずっとそのころのままです。みんなが美しいこの海を守ろうと努力しているおかげです」
渡嘉敷の海ともお別れしなければ

ばならない8月2日、誰からともなく、朝早く浜辺に出ている子どもたちの姿をみました。まるで、少しでもこの風景を目に焼きつけておこうとしているかのようです。美しい自然が残る渡嘉敷島。美しいからこそ、よけいに自然のたいせつさを痛感します。この風景が、いつまでも守られていくよう願わずにはいられません。

「沖縄の海はほんとうにきれいでした」と団員は感想を語ります。「自然」とは尊いものです。でもちよつとしたことからそのバランスはくずれていくものです。自然をたいせつにする心。環境を守ろうとする心。それは「平和」を守っていかうとする心につながっているような気がしてなりません。

初めて見るサンゴ礁に歓声が上がります。こんなきれいな海はいままで見たことがないね



自然は
尊いから愛おしい

最初は班のみんなに声に出して注意ができなくて苦労しました。でもみんな協力してくれました



生活係 黒川 恵 記録係 牛草理子



副班長 山浦しおり

5 班



班長 富永亜希

班のことをまとめることができなくて、すごく苦勞しました



レク係 岡本万優



レク係 前田さくら



保健衛生係 金子 梓



配給係 多久島亜耶



サブリーダー 金子 紘

またいつか どこかで会える

8月2日、渡嘉敷島を後にした一行は、再び沖縄本島に戻ってきました。ここでの研修場所は、糸満市にある「沖縄県立糸満青年の家」です。

ここでは「那覇市立松島中学校」との交流が、大きな研修目的となっていました。この交流のために団員は、事前研修から『面浮立』『伊万里讃歌』と、厳しい暑さに耐え練習してきました。

当日は、交流会をサマーキャンプ側から申し出たにもかかわらず、松島中学校側がリードしながら進行了しました。それには訳があったのです。松島中学校の生徒の中に、前年のサマーキャンプで交流した

興南中学校から転校してきた新原千恵さんがいたのです。彼女は、伊万里サマーキャンプとの交流があると聞くや、自分から申し出てこの会を企画し、この日に備えてきたのです。

ひとつひとつの出会いをたいせつにする

交流会はその彼女の司会で幕を開けました。お互いのまちを紹介し合ったあと、さっそく双方の出し物披露です。まずは伊万里側から『面浮立』。いままでの練習からは想像ができないほどの気合いの入ったかけ声と、機敏な動作に会場は一瞬にして静まりかえ

りました。また『伊万里讃歌』の合唱は館内に響く『いまり、いまり』の声に鳥肌がたつほどの感動を与えてくれました。次に松島中学校側から沖縄空手の演武と伝統芸能の『エイサー』が披露されると、その迫力

と華麗なパチさばきに圧倒され、みんなは息をのんでいました。

最後に再会を誓い合い、自分の住所や、今の気持ちを交換した子どもたち。その輪の中に新原さんと、去年もサマーキャンプに参加して、彼女と親しくなっていた山浦しおりさん（山代東小6年）がいました。新原さんは「伊万里サマーキャンプとの交流会があると聞いてびっくりしました。すぐに、自分が交流会の企画をやろうと先生に相談しました。『しおり』とは1年ぶりに会いましたが、去年よりだいぶ大きくなりました」と話します。サマーキャンプが育んだ友情の絆。恐らくこの出会いは、彼女たちの心に一生残ることでしょう。ひとつ、ひとつ友情の和を広げて行く。『平和』とはそんな人たちの心に宿るものなのでしょう。

「また会えるよね」と再会を誓い合う新原千恵さん（写真左）と山浦しおりさん（同右）



友情は時を超え 空間を超え

特集 沖縄が教えてくれた……夏



生活係 松永直子



配給係 津上綾香



記録係 川原恵子



副班長 坂本ちひろ

班長会議で決まったことをみんなに伝達するのがたいへんでした。でもいろいろなことを学びました



班長 梅村幸未

声に出して言えばみんなに伝わるし、聞いてくれると思いました



レク係 金子 明



配給係 田中しおり



配給係 赤木清海



保健衛生係 溝上久美香



サブリーダー 古賀涼香

沖縄が語る 愛とは、平和とは

沖縄には独特の文化が息づいています。軒の低い家並み、その家々の屋根に乗っている『シーサー』、なかなか読めない地名や人の名前、そして『ゴーヤ』をはじめとした食べ物。あれも、これも珍しいものばかりです。

沖縄には歴史、文化がたいせつに残されている

8月3日、団員たちは『ふれあい探訪』と称して、各班ごと



突然呼び止めて話を聞いたにもかかわらず、いろいろ教えてくれた杉本さん。91歳と聞いてびっくりしました

のふしぎに迫るため、研修所近くの糸満のまちにくり出しました。郵便局、学校、商店、農協など、いろいろなところを尋ね回りました。その中で訪れた兼城中学校では祖慶良純校長が団員たちの疑問にやさしく答えてくれました。

『シーサー』は家の守り神で、口を開けている方がオスで幸せを呼び込み、閉じている方がメスで幸せを逃がさないことや、『エイサー』は、お盆に先祖の霊を供養するために行われていた念仏踊りが起源となつていて、団員は一生懸命メモしていました。事前研修で沖縄のことは勉強していたつもりですが、やはりそこに住んでいる人から直接聞くと、なぜか頭の中に深く刻み込まれます。

街角を偶然通りかかったおばあちゃん、杉本美智子さん（91歳）を呼び止めて尋ねている班を見つけ、近寄ってみました。杉本さんは戦争の時のことを切々と話していました。戦時中彼女は、熊本の親類の家に疎開していて難をまぬ

がれたとのこと。特に戦争のことを尋ねたわけではないのですが、杉本さんはよほどそのことが頭から離れないのでしょう。次から次に話が出てきます。団員のひとりには「沖縄は歴史、文化がたいせつに残されている感じがします」と感想を語りました。沖縄は、多くのものが戦争とともに消えていった。そんな哀しみがあつたから、よけいに歴史、文化をたいせつしようとしているような気がしてなりません。

平和とは話し合う勇気をもつこと

サマーキャンプの大きな課題のひとつに平和学習があります。学校の授業はもちろん、テレビや雑誌などでも目にする戦争。でも実際にそれを体験した人たちから話を聞く機会はなかなかありません。



涙まじりに戦争当時のことを語る島袋さん。「誰かのために死んではいけません。誰かのために生き抜いてください」という言葉が強く印象に残ります



インストラクターの皆さん、お疲れさまでした。(下段左から) 円田洋子さん、中邑綾子さん、岩政智美さん、瀬山良子さん、岩橋和子さん、古賀秀仁さん。中段左から 田中真樹副団長、小島敦さん、池田敦洋さん、中島友輝さん、松尾真介団長、梶山芳弘さん、池田拓磨さん、上段(吉原伴彦)



副班長 右田優委

副班長になって、いろいろたいへんだったけど、とても楽しかった。いい思い出になりました



記録係 松尾 綾

7 班



班長 古賀祥吾

行きたくなかったけど、行ってよかった。すべてが楽しかった



レク係 堀田国治



記録係 前田達也



レク係 浦田惣一郎



配給係 平井寛子



サブリーダー 山浦良太



真っ暗な『アブチラガマ』の中で松永さんの話に聞き入る団員たち。この壕の中には今でも収拾されない遺骨が眠っているといひます

沖縄県立第一高等女学校・沖縄女子師範学校の生徒、教職員で構成されたいわゆる『ひめゆり部隊』に従軍看護婦として参戦し、現在は『ひめゆりの塔・平和祈念資料館』で、悲惨な戦争の語り部として平和を訴える島袋淑子さんを招いて話を聞きました。

南風原陸軍病院で負傷した兵隊を看護する様子、アメリカ軍に攻撃され、病院を捨てて負傷者を抱きかかえながら『ひめゆり』の舞台となった糸満市の地下壕まで逃げ延びた様、またそこでの最後の光景など、切々とまるで命を削るかのように話す島袋さん。「最初は、戦争の話はしたくなかった。あまりに悲しすぎて。でも死んでいった友だちのことを考えると、この両手、両足があるうちは語り続けに行かなくてはならないと思っ

伊万里まで帰るバスの中で団員は感想を語ります。「いままでこんなに真剣に戦争のことを考えたことはなかった。戦争は失うことだけ。平和とは自分たちが作っていくものだということがよくわかりました」

……夏 沖縄が教えてくれた

8月4日、実際に島袋さんが戦争中にいた陸軍第一病院跡の地下壕を見学しました。また、現地では『アブチラガマ』と言っている南風原陸軍病院の糸数分室跡では実際に壕の中に入り話を聞きました。270メートルにも及ぶ地下壕は、ひんやりとしていて、中は真っ暗です。沖縄平和ネットワークにボランティアとして所属する松永光雄さんの案内で中に入った団員たち。松永さんは「戦争ほど悲惨なものはない。人の命ほど尊いものはない。平和とは、どんな時でも話し合う勇気を持つことです」と真剣な表情で語ります。

7泊8日、沖縄でいろいろな体験をした団員たち。この研修の中で身をもつて感じた、お互いが協力し合う、痛みをわかち合うということがいかに大事か。また、そのために心を開いて話し合うということがどれだけ楽しいか。これらは、彼らの心に深く刻み込まれたことでしょう。それが、ひいては『平和』を愛する心につながるのだということも。

ひとつたくましくなつて帰った団員たち。顔つきも心なしか大人びた感じがします。みんなの前には、どんな未来が開けているのでしょうか。いろいろな場面で、つくろく苦しい時が訪れるかもしれません。でもそんな時に、どこからともなく聞こえてくる『2001年夏、沖縄……』という誰かの声。きっとそこは、彼らにとつて忘れられない友がいる、忘れられない場所がある、そんなたいせつなところになっていることでしょう。

忘れられない場所がある

特集 沖縄が教えてくれた……夏



配給係 畑山美紀子



生活係 林 淳美



保健衛生係 田口杏根



副班長 大串円香

野外炊飯で、協力して食事を作り上げることができたことが、いちばん楽しかった。また参加したいです

21世紀に雄飛する伊万里市づくり
ふるさと伊万里応援団



勢ぞろいした『ふるさと伊万里応援団』の皆さん

関東地区に続き関西地区にも！

私たちの心強い味方

ふるさと伊万里 応援団が発足！

7月23日、大阪市内で「ふるさと伊万里応援団」の発足式が行われました。

この応援団は、伊万里を広く紹介してもらう「伊万里大使」14人で構成されていて、関西地区で活躍する市出身者や縁故者の皆さんです。豊かな自然や文化、産業など、伊万里の魅力を広くPRし、企業誘致などにつなげるため、昨年の関東地区に続き結成されたものです。

はじめに川本市長が「伊万里市では、昨年は5社の企業進出と、既存3社の拡張、増設がありました。しかし、地域経済と雇用情勢は依然として厳しく、不安定な状況が



藤沢薬品社友会理事
宗 功さん
(伊万里町出身)

伊万里を離れ50年が経過しましたが、今だに伊万里は私にとって忘れられない魅力的なふるさとです。このたび伊万里を応援する立場になりうれしく思っています。



㈱孝文堂代表取締役社長
徳岡 務夫さん
(伊万里町出身)

大阪に出てきて46年になります。お役に立てるか心配していますが、友人もいっぱい生活しているふるさと伊万里に何か恩返し出来ればと思います。よろしくお願いします。



神戸海洋博物館館長代理
江口 政秋さん
(松浦町出身)

今回の参加で、忘れかけていたふるさと伊万里の昔のことが思い出され、心がだんだんと伊万里へたくり寄せられる思いがします。ふるさとの良さをPRできたと思います。



東洋シャッター(株)代表取締役社長
上原 章さん
(立花町出身)

久しぶりに帰省すると、一番気になるのが夜の街の暗さです。街路樹の景観は美しく、楽しい雰囲気だと思えますので、明るい健康的な街並みづくりに一考を要すると思います。



㈱高津久本店代表取締役営業部長
松尾 章弘さん
(伊万里町出身)

みんなが行きたくなるような、地元出身者が帰りたくなるような、そんな「ふるさと伊万里」になってほしいと思います。今回の仲間とともに誘致の輪を広げていきたいと思っています。



クボタエイトサービス(株)取締役
松尾 正則さん
(南波多町出身)

ふるさとの人口の減少傾向などを聞くと寂しく思います。伊万里の豊かな自然を生かし、人情味あふれるまちづくりを期待しています。もっと「伊万里らしさ」を出していきたいです。



マリネット(株)
代表取締役社長
馬場 紘平さん
(山代町出身)

4年前、縁あって地元山代町の伊万里団地に養殖用配合飼料の生産工場を立ち上げました。伊万里の発展のため、皆さんと今後さらなるPRをしていきたいと思えます。



トータルマルティン(株)
代表取締役社長
松尾 正隆さん
(二里町出身)

18歳で伊万里を出て、39年が経ちました。仕事柄いろんな企業との関わりもあるので、何かのお役に立てればと思います。今回、伊万里にとつてよい応援団ができたと思います。



住友金属工業(株)
シリコン事業本部主任
小林 昌生さん
(杵島郡江北町出身)

仕事で年に数回は伊万里に行きます。伊万里の印象はやはり、食へ物がおいしいことですね。特に伊万里牛、伊万里梨、魚は絶品です。すばらしい伊万里を関西地区でPRしていきます。



泉友総合不動産(株)
第二営業部長
柳瀬 誠さん
(伊万里町出身)

今回の応援団には、同級生(大塚さん)の誘いもあって参加させてもらいました。一人では何も出来ませんが、伊万里発展のため、皆さんと協力していければと考えています。



ESSコスモス
英語講師
近森 敬子さん
(大坪町出身)

ふるさとを離れ、長い月日が経っているので、まずはリアルで新鮮な伊万里を自分自身にインプットし、それをいかにして周りにアウトプットしていくかを考えていきたいと思えます。



メイワ食品(株)
常務取締役
犬塚 勝茂さん
(瀬戸町出身)

この応援団に参加することで、ふるさとがより一層身近に感じることができてうれしく思います。伊万里のために少しでもお役に立てるように、皆さんといっしょに頑張ります。



これを受けて大使の皆さんは「遠くふるさとを離れ、今では大阪弁がすっかり身につけてしまいましたが、伊



あいさつをする川本市長

万里のことは忘れていません。これを機会に伊万里を大いにPRし、ふるさとの発展に少しでも貢献していきたい」と話していました。

また、会場はトンテントンなどの観光ポスターやパンフレット、伊万里梨やぶどうなど郷土の物産が展示され、それが郷愁を誘うのか、故郷の思い出話に花が咲いていました。



(有)鹿の子
代表取締役
虫鹿 壽美子さん
(大川内町出身)

母や兄弟もいるふるさとへの思いは強いものがあります。伊万里がこんなに頑張っているんだということを伝えたいです。いい意味で「伊万里はこれから」だと思います。

大使の 皆さんから ふるさとへ 熱き メッセージ



(株)菱播電機製作所
取締役製造部長
原 邦芳さん
(新天町出身)

ふるさと伊万里の発展を願っている一人です。大川内山は私たち夫婦が大好きな場所です。もっと広く、特に若い人たちに伊万里をPRできればいいんじゃないかと思えます。

いています。ふるさと伊万里のため、企業誘致活動などにみなさんのご支援をよろしくお願ひします」とあいさつしました。

続いて市長が、皆さん一人ひとりに「伊万里大使」の委

嘱状を交付。伊万里焼などの写真をあしらった大使の名刺もあわせて渡しました。

次に、大使の皆さんに、ふるさと伊万里を再発見してもらおうとセミナーが開催されました。PRビデオやパネルを使い、伊万里港コンテナターミナルや西九州自動車道、伊万里湾大橋の整備状況、南北道路建設、黒澤明記念館建設計画など、伊万里の現状が報告されました。

元気をもらった『うべサミット』

『いまりプラザ』委員体験リポート

全国の『男女共同参画宣言都市』の首長が一堂に会して、それぞれの現状や、今後の取り組みについて議論しあう『全国男女共同参画宣言都市サミット』が山口県宇部市で

ありました。

今年1月13日、その仲間入りをした伊万里市からは、川本市長が市の取り組みなどを発表したほか、伊万里市男女協働参画懇話会『いまりプラ

ザ』委員も参加しました。

国や、各宣言都市の取り組みなどを知り、全国から集まった参加者と交流を深めた『いまりプラザ』委員はどんなことを感じたのでしょうか。ここではそんな委員の体験リポートを紹介します。

21世紀は男女協働参画の世紀だ！

男女共同参画都市を宣言している全国37の市町村から、約1500人が集まり、7月27日、宇部市渡辺翁記念会馆で『うべサミット』は行われました。伊万里市からは川本市長が出席、わたしたち『いまりプラザ』委員12人も参加しました。

会場では、実行委員会の皆さんの活気あふれる笑顔と、宇部市の市花であるサルビアの花が迎えてくれました。黄色のTシャツを身につけたス

タッフは、男性も女性もキラキラ光っていて、宇部市の行政と、市民の皆さんのサミットにかける意気込みを感じました。

オープニングは、宇部市民オーケストラの演奏で優雅に幕を開けました。最初に、坂東眞理子内閣府男女共同参画局長、続いて藤田忠夫宇部市長の主催者あいさつがありました。

坂東局長は「男女共同参画社会は、性別や年齢、学歴などの外側のレッテルにかかわらず、自らの意思によって、あらゆる分野に参画できる社会です。21世紀型の行政は、目標やその志を住民の皆さんと共有し、情報も共有していくものになります。皆さんはその当事者として関わっていただかなければなりません」と話していました。また『仕事と子育ての両立支援策』や『女性に対する暴力をなくす



伊万里市の展ブース

運動』についての報告があり、男女共同参画社会の実現のために、国でもさまざまな取り組みがなされていることを知りました。

**女性のほほえみを
好意からと思ったら
お間違いない**

基調講演は、ベストセラー



軽快な大阪弁で会場を沸かせた 暹 洋子さん



『うべサミット』に参加した『いまりプラザ』委員の皆さん。
後列右から米岡初代さん、中野敏子さん、犬塚信子さん、原幸子さん、
諸石秀子さん、吉永幸子さん、川田涼子さん、山口永久子さん。前列右
から小松尚子さん、市丸初美さん、内山百合子さん、井崎麗子さん

『東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ』の著者で、タレントの通 洋子さんです。『女と男のいい関係』楽しく生きよう21世紀』と題した講演がありました。軽快な大阪弁で、自身の体験をもとにした、女性の視点からの話があり、男性の皆さんには、ちよつと耳の痛い話ではなかったでしょうか。

セクシャルハラスメントの話題で遙さんは「セクハラは、仕事のために嫌なのをガマンしている女性のほほえみを、好意だと勘違いするニブイ男性が犯してしまう罪です。その女性がどのような気持ちでいるのかを嗅ぎ分ける力をつけることが必要です」と前大阪府知事の横山ノックさんが起こしたセクハラ事件の例な



どを交えながら話していただきました。また、「時代の認識の誤りや固定観念、思い込みがセクハラなどを引き起こすのです。そういったことを世に問いつけていかなければ、みんなの意識の改革はできません」と強く主張。「21世紀は男と女がいい関係で、楽しく生きられる社会になるよう願っています」と話を結びました。

川本市長登壇。伊万里市の取り組みは

最後のシンポジウムでは、川本市長が登壇。テレビキャスターの宮田佳代子さんをコマーディネーターに、男女共同参画都市宣言を行っている全国9市の市長が意見発表を

しました。宣言都市になった経過や男女共同参画事業への取り組みの報告、今後の課題などについて、活発な意見交換がありました。川本市長は、伊万里市が使用している『協働』と『共同』の違いを説明し、市の取り組み姿勢や、

これまでの経過について詳しく話しました。また『第三期いまり女性プラザ』（いまりプラザの前身）が実施した伊万里市女性行動計画『あなたとわたしのきらめきプラン』の実施状況調査について発表しました。

ここで感じたのは、法律を作ったから、また行動の指針を出したからといって、すべての問題が解決するものではないということ。どうしたら家庭が、社会が変えられるのか。男女協働参画社会の実現に向けて、今何ができるかを一人ひとりが少しずつ意識することがたいせつだと思いました。

交流会ではさまざま な意見が飛び交う

閉会式のあと、宇部市内のホテルで開催された交流会はたいへん盛り上がりしました。会場は約300人が参加し、いろいろな人と直接話ができる貴重な時間でした。この席では、宇部市長もスタッフと同じ黄色のTシャツに『ドレスアップ』。わたしたちを出迎えてくれて、市全体でのサミットを作りあげている

のだなと実感しました。

石川県小松市の『市長応援団』の皆さんは、12時間かけてバスで参加したと聞き、男女協働参画に対するパワーをひしひしと感じました。また山梨県都留市では、15人の委員が啓発活動に出向いていくグループと、広報紙を担当するグループに分かれて活動しているとのこと。活動の方向や考え方が伊万里市と似ていて、たいへん参考になりました。ほかに愛媛県新居浜市や、地元宇部市の皆さんとも話がはずみ、全国的なネットワーク作りができた気がします。



交流会で宇部市の皆さんと。上段左端が山口県の大泉副知事、その右となりが藤田宇部市長

いまりプラザ委員 として今

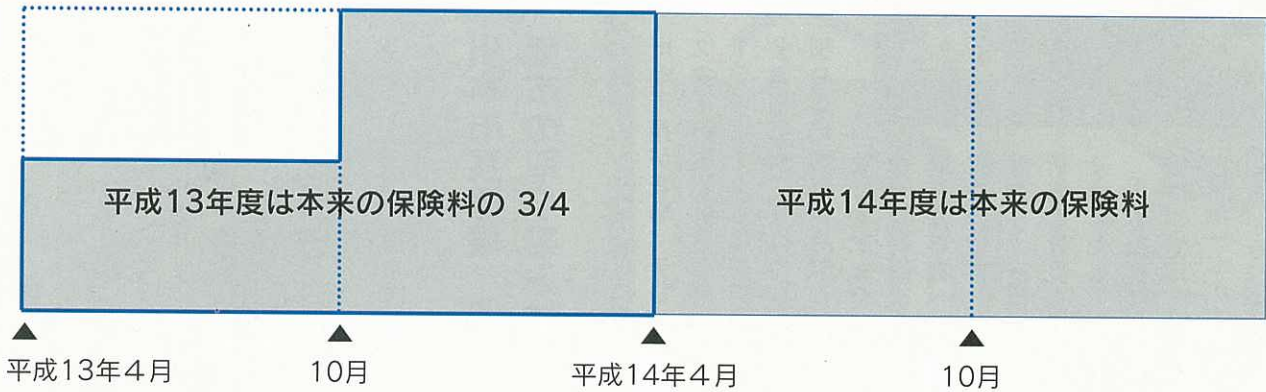
これまで、市民の啓発をどうやっていくかが課題となっていました。サミットに参加して、その手がかりが見え

てきた気がします。男女協働参画社会の実現に向けてがんばっている全国の仲間と語り合い、いろいろな取り組みを聞いて大きなエネルギーをもらうことができました。さらに今回の最大の収穫は、わたしたち委員同士が、ともに考え、語り合い、きずなを深めたことです。わたしたちは、今回出会った全国の仲間とのネットワークを大事にして、一人ひとりの力を合わせて、男女協働参画社会の実現に向けてがんばっていかうと思えました。

65歳以上の人の介護保険料が 10月から全額納付になります

●問合先 市健康増進課 (☎23 2111 内線254)

■図 1



■表 1

普通徴収の人の保険料 (納付書または口座振替の人)

保険料段階	9月分	10月分
1	1,000円	2,100円
2	1,600円	3,200円
3	2,100円	4,300円
4	2,700円	5,400円
5	3,200円	6,500円

特別徴収の人の保険料 (年金から天引きされる人)

保険料段階	8月分	10月分
1	1,500円	3,200円
2	2,300円	4,900円
3	3,100円	6,300円
4	3,900円	8,000円
5	4,700円	9,400円

介護保険料の納付にご協力ください

65歳以上の人の、平成13年4月から9月までの介護保険料は、特別措置により2分の1に軽減(図1)されていましたが、10月から本来の保険料を納めていただくこととなります。(表1)したがって平成13年度の保険料は、年額で本来の保険料の4分の3の額となります。

- ▼介護保険料を納めないでいると、その期間に依りて保険給付が制限される場合があります
- ①納期限を過ぎると
延滞金や督促手数料を徴収される場合があります
- ②1年以上滞納すると
介護サービスを利用したときには、利用者が費用の全額をいただきます。なお、申請によりあとで保険給付(費用の9割)があります
- ③1年6か月以上滞納すると
利用者が費用の全額を負担し、申請をしても保険給付の一部または全部が、保険

料を完納するまでの間差し止めになったり、差し止められている保険給付額から滞納している保険料額が控除(差し引き)されたりします

④滞納が2年以上続くと
滞納していた期間に応じて、利用者負担が1割から3割に引き上げられるほか、高額介護サービス費などの支給が受けられなくなります

★介護保険料の納入は納め忘れのない口座振替が便利です

※上記の表と異なる場合もありますので、詳しくは7月に送付した納入通知書でご確認ください

9月9日は『救急の日』

万が一の場合に備えて

応急手当をマスターしましょう

これだけは覚えておきたい応急手当



意識がなかったら
▽気道（空気の通る道）
を確保してください

気道確保は、最も重要な
手技です。
前頭部に手を置き、頭部
を後方にそらせ、片方の手
で下あごを上に引き上げて
ください。



呼吸がなかったら
▽ただちに人工呼吸を
実施してください

気道を確保した状態で鼻
をつまみ、自分の口を大き
く開いて相手の口を覆い、
息を吹き込んでください
（大人は5秒に1回、乳児は
3秒に1回のリズムで）



脈がなかったら
▽心臓マッサージを行っ
てください

胸部中央の胸骨の下3分
の1のところ、手のひら
の根もとをあてます。つき
に片方の手のひらをその上
に乗せ、1分間に80回のリ
ズムで圧迫してください
（乳児は、中指と薬指の2本
で、1分間に100回のリ
ズムで）

9月9日は『救急の日』で
す。またその日をはじめとす
る15日までの一週間は『救急
医療週間』と定められていま
す。これは、救急医療や救急
業務について、正しい理解と
認識を深めてもらうため実施
されているものです。

皆さんもこれを機会に応急
手当を覚えましょう。また、
応急手当を施すとともに、救
急車を呼んでください。すば
やく救急車を呼ぶためのポイ
ントは次のとおりです。
①『119』をダイヤルする
②電話が繋がったら『救急
です』とはっきり伝える

③住所と目標になる建物など
を伝える

④状況を説明する

『いつ』 何分前に

『誰が』 何歳の××が

『どこで』 自宅で

『どのように』 急に胸を押
さえて

『どうなった』 倒れた

⑤傷病者が多数の場合はその
人数も伝える

⑥傷病者に行った応急手当を
説明し、次の指示を受ける

⑦救急車を現場に誘導する

※携帯電話での通報は、つな
がらない場合があるので、
なるべく公衆電話を

**普通救命講習会を行います
あなたも参加しませんか**

より詳しく救急法を知り
たいという人のために、普
通救命講習会を開催します。

急病や交通事故などの場
合、発見した人の応急手当
で、尊い命が救われること
があります。あなたも講習
会に参加して、応急手当の
知識を身につけましょう。

▼日時 9月9日（日）

午後1時半～4時半

▼場所 市消防本部研修室

▼問合先

市消防本部警防課救急室

（☎03-4311内線44）

※消防本部では、応急手当
法講習会を随時開催して
います。ご要望があれば、
いつでもご連絡ください

「夏の思い出と中国の花火について語る」の巻



伊万里市が交流している中華人民共和国の大連市から、公務研修生として陳 延明さんが来ています。

そこで、5月から隔月で、陳さんに大連のことや伊万里での活動を「陳さんが行く！」として報告してもらっています。

今回はその第3号。夏の思い出と花火について語ってもらいます。それでは、陳さんよろしくお願ひします。

皆さん、こんにちは。伊万里の夏はとても暑かったですね。残暑が続く中、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。今回は「夏」と「花火」について書いてみました。

夏、私の大好きな季節です。大連は海の町です。三方を海に囲まれている大連で生まれ育った私にとって、海に遊びに行くことは夏の日常です。子どもの時、夏になると両親に何度もしつこく「海に連れて行って」とせがみました。そして、海に行ける前日の夜は興奮で眠れないこともしばしばでした。

大連は、中国では有名な避暑地で、毎年大勢の観光客が訪れます。昼間は、ほとんどの海水浴場は人で埋まり、まるで芋を洗うような大混雑です。夜になると、にぎやかだった砂浜には静寂が戻り、地元の人はこの時に海に出て、星と街灯に照らされている夜の海を楽しんでいます。

海は「生命の揺りかご」と言われています。いまでも海辺で、すがすがしい海風を吸いながら、海と空がつながっている果てしない水平線を見ていると、この美しい地球に生きていることがほんとうに幸せだと感じます。

真夏になると、日本各地でさまざまな夏祭りが盛大に行われますね。夜になり、きれいな花火が打ち上がるたびに歓声が上がると光景はとも印象的です。キラキラと輝く星空をキャンパスに、美しい図案を描く花火はロマンチックな情緒をわき起こし、幼心をよみがえらせますね。私も花火が大好きです。

中国では、日本とまったく違う季節、真冬の春節（旧暦の新年）に花火の出番がやってきます。中国では古くから祝日や慶事の際、竹筒に火薬



子どもたちに大連の話をする陳さん

を入れ、火を点けて鳴らし、邪悪なものを追い払う習慣があります。（これが爆竹という名の由来です。爆竹の製造技術がさらに進んで花火が誕生しました。）

年の変わり目である旧暦の新年は特に重要視され、過去一年間の悪運と厄を爆竹と花火で払うことによつて新しい年を元気に迎えられると考えられています。除夜の11時半から12時半の1時間、家ごとに爆竹が打ち鳴らされると中国全土が音と光に包まれて、新年の気分はクライマックスに達します。

皆さん、異国の夏や花火を経験してみませんか。来年度大連でお待ちしておりますので、ぜひ遊びにきてくださいね。

どう育
なよ教
んえ和
み考同
No.136

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載
しています。これを手がかりに、家庭で
人権問題について話し合ってみましょう。

育てよう愛と人権 ⑬

スポーツ

国際交流と
人権問題

アメリカ大リーグ
マリナーズのイチロ
ー選手が入団1年目にして超
一流選手と認められ、オール
スターファン投票でも最多得
票でアメリカ国民に支持され
ました。選んでくれたアメリ
カ人ばかりでなく、日本人に
とつても喜ばしい限りです。
大リーグには人種・人権問
題に絡む苦い歴史がありま
す。かつて、J. ロビンソン



選手が黒人第1号選手として
大リーグに入団した時、白人
大リーガーたちは、一緒にプ
レーすることを拒否しベンチ
から出ていきました。しかし、
彼は厳しい人種差別に負けず
数々の業績を残しました。

また、H. アーロン選手が
ペーブルースのホームラン記
録を更新しようとしている
頃、数多くの脅迫電話や手紙
が彼の家庭へ届き、彼を苦し
ませました。この2つの事件
は、長い歴史を誇る大リーグ
の世界といえども、人種差別
意識が根強く存在していたこ
とを物語るものでした。

このような大リーグの歴史
を考えるにつけ、イチロー選
手に対するアメリカ国民から
の熱狂的支持に人権意識の高
揚を見る思いがします。

一方、わが国の外国人に対
する人権意識は高まっている
でしょうか。「人権教育のた
めの国連10年」に関する国内
行動計画では、国際交流の増
大に伴いさまざまな人権問題
が生じていると指摘し、外国
人に対する差別意識の解消を
呼びかけています。

「人権の世紀」と言われる21
世紀に入り、国際交流があら
ゆる分野で拡大されていま
す。スポーツで一流だからと
称賛的に認めるだけでなく、
世界の全ての人々の人権が平
等に扱われることを願ってや
みません。(市社会教育指導員)

カプトガニの産卵を見る会
生命の神秘を
観察しました

7月22日、木須町の多々良
海岸で、「生きた化石」カプ
トガニの産卵を見る会が開か
れました。

この会は、市教育委員会と
カプトガニを守る会が毎年開

いているもので、今年は天候
にも恵まれ、20ツガイが波打
ち際まで姿を現しました。

当日は、親子づれなど約1
00人が参加。およそ2億年
前から変わらないと言われる
産卵の様子を間近で観察しま
した。また、伊万里高校生物
部が研究飼育しているカプト
ガニに実際に触れ、生命の神
秘を感じていました。

郷土の文化財

伊万里市の歴史(補足)

伊万里の港の発展

伊万里市の中世

文禄・慶長の役(159
2~98年)は、肥前(佐
賀・長崎県)の窯業が発展
するものになりましたが、
ほかにも大きな影響をあた
えています。

名護屋(鎮西町)からは
約15万人の兵が朝鮮半島へ
出兵し、約20万人の兵が、
その付近に待機することに
なりました。

物資や軍兵の輸送のた
め、東松浦半島を中心とす
る港は、軍船でいっぱい
になりました。伊万里もその
役割をになうことになりま
した。

鍋島直茂の軍1万200
0人は、伊万里から出航し
ました。直茂の船は国吉丸
という大軍船でした。

当時は、伊万里湾が奥に
入り込んでいて、市街地の
大部分が海でした。元町の
稲荷社の楠に国吉丸のとも



国吉丸のともづなを結んだという楠
(元町公民館横)

づなを結んだという伝説が
残っています。
武雄の後藤家信や多久の
多久家久の軍勢も伊万里か
ら出航しました。

軍勢を送りだすために、
伊万里の港は浚渫などの整
備が進んだと思われれます。

それは、中世には「伊万
里浦」と呼ばれ、あまり大
きな港ではなかった伊万里
が、のちに「伊万里津」と
いう大きな港町に発展して
いくきっかけになったので
す。

みんなの 広場

このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所広報係へご連絡下さい。
(☎ 23-2111・内線207)



👉 どんな火災もおれたちに任せろ！（8月19日）

伊万里市消防団の団員約1000人が一堂に集まり、恒例の夏季点検が開かれました。当日は二里小学校で式典が行われた後、会場近くの有田川河川敷で一斉放水がありました。これは消防団の日ごろの訓練の成果を実際に見てもらおうと行われたものです。

有田川河川敷には、防火服に身を包んだ団員たちが勢ぞろい。消防ポンプ50台、ホース100本による一斉放水に、見物した人たちは驚きの声を上げていました。



👉 大きく育って帰ってこいよ！（7月26日）

建設中の伊万里湾大橋のためとでチヌの放流がありました。これは、伊万里湾の魚が年々減少しているため、これを守ろうと行われたものです。この日集まった子どもたちは「大きく育ってね」と祈りを込めて7000匹のチヌの稚魚を放流しました。

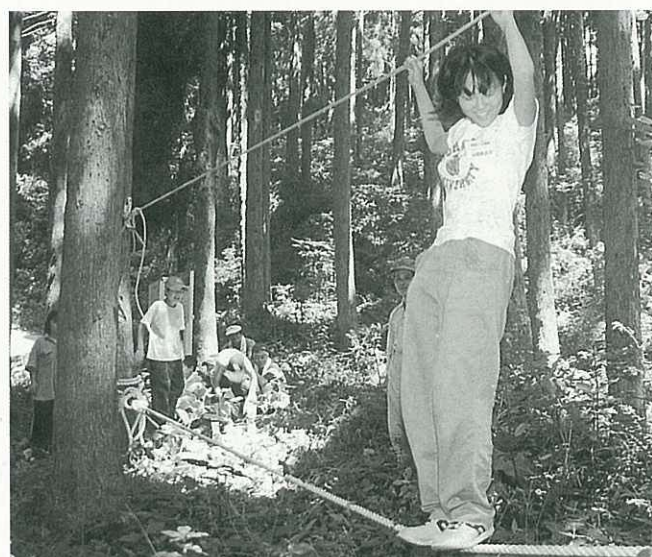


👉 あなたもこれで伊万里学博士です（7月19日）

今年も『伊万里学ゼミナール』が開講しました。第1回講座は、山口一男さん（松浦市史談会会長）による『元寇と防塁』です。元寇時に松浦党がいかに活躍したかという話に、参加者は、当時の伊万里湾のようすに思いをはせながら熱心に聞き入っていました。

👉 時には自然の中で遊ぼうよ（8月17～20日）

『野性への挑戦』が東田代自然の森キャンプ場（大川町）でありました。参加した小学生から高校生まで51人は、キャンプをしながら日ごろなかなか経験できない山遊びを満喫。「山遊びがこんなに楽しいとは思わなかった」と話していました。





👉 みんな力を合わせて頑張りました (8月5日)

毎年恒例となった『大坪地区子ども会親子いかだづくり大会』が伊万里川でありました。参加した19艇のいかだは、どれも趣向を凝らしたものばかり。レースでは、河畔から盛んな拍手と声援が送られていました。なお、総合優勝は富士町『海賊船プーさん号』でした。

👉 さわやかな朝のリフレッシュタイム (8月5日)

澄みきった青空のもと、国見台陸上競技場で『ラジオ体操会』がありました。これは、一昨年行われた『巡回ラジオ体操教室』がきっかけで毎年行われているものです。この日は親子づれなど約300人が参加。曲に合わせて、気持ちよさそうに体を動かしていました。



👉 これで交通事故もナシでしょう (7月23日)

南波多町『ふるさと村』で、無事故を願い『交通事故“梨”キャンペーン』がありました。当日は、伊万里ナシのキャラクター『なし万里くん』と『梨里(リリー)ちゃん』も参加して、伊万里ナシならぬ交通事故ナシを呼びかけていました。

👉 船上から見る伊万里湾もまたいいね (8月19日)

海上保安庁所属の巡視船『ちくぜん』の体験航海がありました。これは、伊万里湾小型船安全協会と市が、唐津海上保安部の協力を得て実施したものです。当日は久原港南ふ頭(山代町)を出発し、長崎県鷹島沖までゆっくり伊万里湾を遊覧しました。



このほかにも、観光に便利な電話帳や、おみやげ店、酒造所案内、祭り・イベント情報、さらには伊万里湾の年間釣情報も掲載されています。役立つ情報が盛りだくさん。すでに全世帯に配布されていますので、ぜひ活用してください。

これがあればすべてがわかる
伊万里グルメ
マップができました

市内の飲食店など260店を掲載した「伊万里グルメマップ」が、このほどでき上がりました。

このマップは、地元の飲食店業界に活力を出そうと、市料飲店組合、同旅館組合、同観光協会が中心となり制作したものです。マップには、レストランや居酒屋、スナック、ホテル、旅館などがメッセージつきで紹介されており、記号を使って、所在地も一目でわかるようになっています。

伊万里津



あで
艶やか

どっちゃん
まぎろかねー



遠く江戸時代、焼き物の積み出しでにぎわった伊万里のまち。焼き物商人が闊歩し、家々からは三味線や琴の音色が響き、それは活気がみなぎっていた。

そのにぎわいを今に！
伊万里の夏の夜を彩る『どっちゃん祭り』が、8月5日、市街地を会場に開かれました。

今年新たに『どっちゃんよさこい』が登場。会場は、多くの人でにぎわい、まちは祭り一色となりました。

ヨサコイ！ヨサコイ！
どっちゃんヨサコイ



か
れん
可憐

夏・おんな

どきどき

わっしょい!
わっしょい!
祭りだよ!



わたしもいつかは主役に



出船入船に
まちは沸いた



Old Person
and Child Page

ほがらか



ページ



おばあちゃんと作る

料理はどうだった？

7月23日、おばあちゃんと孫の料理教室が牧島公民館でありました。これは、子どもたちにお昼



の弁当をそれぞれ作ってもらい、それを評価しながら、好き嫌いのお昼を見てみよう

と開かれたものです。当日は、牧島地区の子どもたち20人が参加。おばあちゃんたちの指導を受けながら、肉まき、きんぴら、鶏のからあげやかぼちゃの煮物など挑戦。汗を流しながらも、一生懸命フライパンや鍋と格闘していました。

参加した子どもは「好きなカレーだったら良かったのに。でも初めて料理したけど、おもしろかった。今度は自分の家でやってみよう」と話していました。

交通事故一日捜査官が行く

交通事故はドガンして起きよつとかなく



7月26日、伊万里警察署において、高齢者を対象とした交通安全研修会が行われました。

これは、過去に市内で発生した高齢者の交通事故の現場を回り、その事故原因を分析することによって、事故を回避するための正しい知識を習得してもらおうと開かれたものです。この日は「交通事故一日捜査官」として、各町の高齢者の

リーダー11人が参加。伊万里警察署で説明を受けた後、さつそく市内の事故現場を検証。交差点での無理な横断や、車道の斜め横断などが事故原因につながっていることを聞いて「今なら間に合う」「大丈夫だろう」という過信や、油断が事故につながっているのではとの意見が出るなど、参加した皆さんは、真剣に事故原因を追求していました。

「交通ルールを守ることはもちろん、自分たちの体力の低下も自覚して行動しなければいけませんね」



内田 直さん
(立花町南ヶ丘)

四季の詩

藩室の旧居は質素草の花

大川内町福野

黒髪

和代

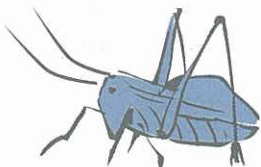
葛の花ひそやかに咲く野の小径

紅の色のビロードに似て

立花町東月蔵寺

梶山

胡蝶





山代西 小学校

- 所在地 伊万里市山代町西
分4475番地1
- 創立 明治5年
(1872年)
- 児童数 101人
- 校長 小池 公仁

ぼくの学校 わたしの学校

沿革

明治5年に立岩と西分に設立された2つの学校が明治17年に合併し、立成小学校として創立。昭和29年、市制施行に伴い、山代西小学校と改称。現在の校舎は、平成7年に新築されました。

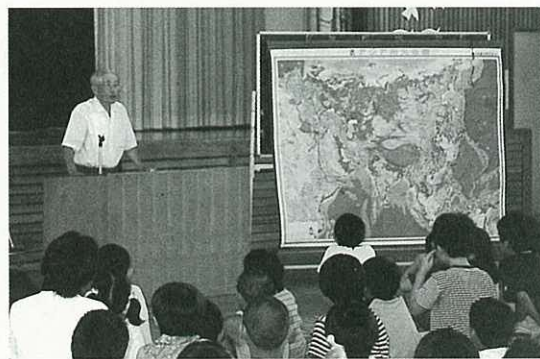
学校の特徴

山代西小学校は、豊かな自然に恵まれた学校です。学校の近くの佐代川では、夏には



紹介してくれた山口聖也くん(上左)、前田直子さん(同右)、松永秀平くん(下左)、前田紗希さん(同右)

全校児童が参加する『平和集会』のようす



泳いだり、釣りをしたりして楽しむことができます。秋には夏に植えたコスモスが佐代川の周りできれいに咲きます。また、校門の横にある大きなイチヨウの木は、美しい黄色に色づきます。私たちの学校は環境教育日本一をめざしています。第1土曜日にはクリーン作戦として、集団下校をしながら地域のごみを拾っています。夏休みには毎年平和集会を開き、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを学んでいます。全校児童101人と少ないけれど、誘い合ってみんなで仲良く遊んでいます。

ほほえ美さん

まつお ゆみ
松尾 裕美さん(23歳)

- ★大坪町永山
- ★双子座・B型



裕美さんは、今年の2月から二里町のTAX伊万里店にお勤めで、車検や登録の代書業務をしています。仕事で週に3日は佐賀市や佐世保市まで車を運転していくことで、目下の悩みは、運転中に日焼けしてしまつことだとか。172センチと長身の彼女は、中学・高校時代はバスケットボール部で活躍。今年の冬は、スノーボードにも挑戦してみたいそうです。自立した女性になることが夢という彼女は現在、行政書士の資格を取るために勉強中。夢の実現に向けて頑張ってください。

わが家の

アルバム

なか おこうじ
中尾 浩司くん (3歳)

- ★啓司・浩司さんの長男
- ★二里町大里



このまま元気で、すこやかに育ってくれればいいな。お姉ちゃんとは3人、いつまでも仲良くね。

おはくは、外で遊ぶことが好き。特に三輪車で遊ぶのが大好きなんだ。転んでよくケガもするけど、全然平気。注射の時も泣かなかつたんだよ。すごいでしょう。だけど、お姉ちゃんとけんかしたときは泣いちゃうときもあるかな。

スポーツ

9月の町民スポーツ

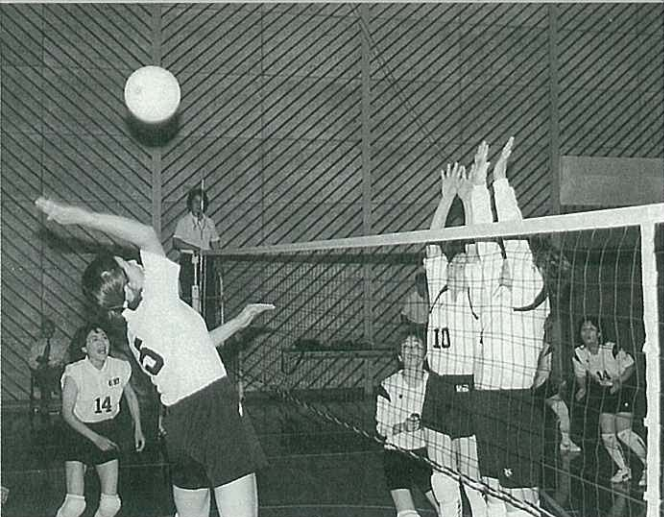
- 2日(日)
 - 大川内町民ゲートボール大会
8時開会 伊万里向陽園ほか
- 7日(金)～28日(金)
 - 黒川町ナイターソフトボール大会
20時開会 黒川小学校
- 9日(日)
 - 伊万里町民野球大会
9時開会 啓成中学校
- 23日(日)
 - 南波多町民体育大会
8時半開会 南波多小学校
 - 大川町民相撲大会
10時開会 淀姫神社相撲場
 - 大川内町民体育大会
8時20分開会 大川内小学校
- 10月7日(日)
 - 大川町民運動会
8時半開会 大川運動広場
 - 松浦町公休日町民体育大会
8時開会 松浦運動広場

9月の市民スポーツ

- 2日(日)
 - 青少年柔剣道大会
9時開会 国見台武道館ほか
- 9日(日)
 - ライオンズ杯争奪グラウンドゴルフ大会
8時半開会 国見台陸上競技場ほか
- 15日(土)
 - 会長杯争奪ソフトテニス大会
9時開会 国見台庭球場
- 16日(日)
 - 正鶴会弓道選手権大会
9時開会 国見台弓道場
 - 桑原杯ダブルスバドミントン大会
9時開会 国見台体育館
- 22日(土)～24日(月)
 - 九州地区高等学校野球佐賀大会
9時開会 国見台野球場

市長旗争奪ママさんバレーボール大会

暑さなんか吹っ飛ばして



第24回市長旗争奪ママさんバレーボール大会が、7月4日から26日まで、国見台体育館で開かれました。出場チームは1部8チーム、2部7チームの合わせて15チーム。夏の暑さをもともしない、それこそ熱き戦いが、コートせましと展開されました。

7月26日に行われた決勝戦では、1部がストレートで『南波多』、2部が逆転で『東山代婦人スポーツ愛好会』がそれぞれ勝利し、念願の優勝



1部優勝『南波多』チーム



2部優勝『東山代婦人スポーツ愛好会』チーム

を勝ち取りました。なお、上位の結果は次のとおりです。

- 《1部》
優勝 南波多
2位 いまり
3位 東陵
- 《2部》
優勝 東山代婦人スポーツ愛好会

- ツ愛好会
2位 川東
3位 木須東
- ▼最優秀選手賞
瀬戸寿子(南波多)
- ▼優秀選手賞
山口久美(いまり) 川崎逸子(東山代婦人スポーツ愛好会) 前田ひとみ(川東)

市子ども会連合会

キックベースボール・ミニバレーボール大会

第1回市子ども会キックベースボール大会と第9回市子ども会ミニバレーボール大会が、8月19日、24チームが参加して、国見台球技場と国見台体育館で、それぞれ開かれました。主な試合結果は、次のとおりです。

- ▼キックベースボール大会
- ①山代町楠久子ども会
 - ②二里町大里子ども会
 - ③黒川町真手野子ども会
 - 大川内町大川内山子ども会
- ▼ミニバレーボール大会
- ①伊万里町松島子ども会
 - ②山代町東分子子ども会
 - ③大坪町立花台三丁目子ども会
 - 南波多町府招上子ども会

伊万里市小学校水泳大会

接戦の好レースを展開!

第37回伊万里市小学校水泳大会が、7月25日、市内16の小学校から356人が参加して、伊万里小学校プールで開かれました。

この日は晴天にも恵まれ、好記録が続出。応援に詰めか

《50㊦自由形の部》

- ▽6年生男子①古場勇人(大坪小) ②田中勝浩(牧島小) ③川内大志(滝野小) ④6年生女子①力武麻美(東山代小) ②副島香織(牧島小) ③大野詩歩(松浦小) ④5年生男子①宮本政一(伊万里小) ②中村幸栄(二里小) ③小松善生(東山代小) ④5年生女子①松木命代(東山代小) ②原由希子(立花小) ③大川内美樹(松浦小)

《25㊦平泳ぎの部》

- ▽6年生男子①松尾巧(大坪小) ②副島隆宏(牧島小) ③田中勝浩(牧島小) ④6年生女子①居石希望(立花小) ②大宅成美(二里小) ③吉富美幸(山代東小) (2位は同タイム) ④5年生男子①中村幸栄(二里小) ②下野聖明(伊万里小) ③梅村守(南波多小) ④5年生女子①吉田千湖(山代東小) ①井上麻衣(伊万里小) (1位は同タイム) ③富永瑞穂(立花小) ④4年生男子①原田悠(二里小) ②桑本祥平(南波多小) ③浦圭司(立花小) ④4年生女子①力武彩(大坪小) ①前田真嘉(二里小) (1位は同タイム) ③松尾知香(伊万里小)

《25㊦背泳ぎの部》

- ▽6年生男子①古場勇人(大坪小) ②松尾巧(大坪小) ③松永雅嗣(伊万里小) ④6年生女子①松尾彩(波多津東小) ②松尾理乃(牧島小) ③藤麻里奈(立花小) ④5年生男子①宮本政一(伊万里小) ②小松善生(東山代小) ③下野聖明(伊万里小) ④5年生女子①久地浦雅子(伊万里小) ②青木紀美子(黒川小) ③松木命代(東山代小)

《100㊦リレーの部》

- ▽全学年男子①大坪小(松尾巧、岡本真和、岩藤樹、古場勇人) ②南波多小(松尾聡、福島将司、岡本是知、桑本祥平) ③伊万里小(宮本政一、松永雅嗣、高木祐也、田中翔) ④全学年女子①二里小(大宅成美、松尾幸子、金武結香、前田真嘉) ②立花小(川久保治美、藤麻里奈、真名子文香、居石希望) ③伊万里小(山田麻美、下野祐未、松尾侑香、小林美穂)



伊万里市民 早起き野球大会

第28回伊万里市民早起き野球大会が、5月20日から8月5日まで開催されました。

大会最終日の8月5日には決勝戦が行われ、住友金属伊万里と牧瀬工業が対戦。

試合は、序盤に1点ずつを取り合いましたが、その後は息詰まる投手戦となり、迎えた最終回。住友金属伊万里は、ノーアウト満塁から走者一掃を挙げ、その裏の牧瀬工業の反撃を1点に抑え、見事優勝を飾りました。



見事優勝した『住友金属伊万里』の皆さん

第54回 県民体育大会が 開催されます



第54回県民体育大会が伊万里市・西松浦郡を中心に開催されます。佐賀県民のスポーツの祭典に、皆さんの熱い応援をお願いします。

◆総合開会式 ・日時 9月29日(土) 午前9時～
・場所 国見台陸上競技場 (雨天時は市民センター)

伊万里市で行われる競技種目・日程・会場

◎ …… 主会場

競技	種別	29日	30日	会場	競技開始
陸上競技	一般男子		○	国見台陸上競技場	10:00
	一般女子				
サッカー	一般男子	○	◎	◎ 伊万里高校グラウンド 啓成中学校グラウンド ◎ 伊万里農林高校グラウンド 国見中学校グラウンド	2日間とも 10:00
テニス	一般男子	○	○	佐賀厚生年金休暇センター 伊万里商業高校庭球場	1日目 9:30 2日目 10:00
	一般女子	○	○		
バレーボール	一般女子		○	伊万里農林高校体育館	9:30
バスケットボール	一般男子	○	○	伊万里商業高校体育館 伊万里高校体育館	1日目 13:00 2日目 9:00
	一般女子	○	○		
ソフトテニス	一般男子		○	国見台庭球場 国見中学校庭球場	1日目 10:30 2日目 9:30
	一般男女	○			
	一般女子	○			
軟式野球	一般男子A	○	○	国見台野球場 東山代運動広場	2日間とも 9:00
柔道	一般男子		○	伊万里中学校体育館	9:10
ソフトボール	一般男子A	○	◎	◎ 国見台球技場 青嶺中学校グラウンド 伊万里商業高校グラウンド	2日間とも 10:00
	一般男子B	○	○		
バドミントン	一般男子		○	青嶺中学校体育館 山代中学校体育館 国見台体育館 啓成中学校体育館	9:30
	一般女子		○		
弓道	一般男女混成	○	○	遠的: 東山代アーチェリー場 近的: 国見台弓道場	1日目 10:30 2日目 9:00
		遠的	近的		
剣道	一般男子		○	東陵中学校体育館	9:30
	一般女子				
ボウリング	一般男女		○	伊万里スターボウル	8:30

くらしのチャンネル

お知らせ

事業所・企業統計調査にご協力を

10月1日現在で、事業所・企業統計調査が行われます。

調査の対象は店舗や工場、会社、学校、駅、病院、神社、仏閣など、あらゆる種類の事業所です。

調査の結果は国、県、市の都市計画、交通対策、雇用対策などの基礎資料として広く利用されます。

9月下旬から調査員が事業所に伺いますので、ご協力をお願いします。

● 問合せ

市情報推進課
(☎2111内線408)

ご相談ください 無料特設人権相談

人権問題や相続、不動産、借地借家、金銭貸借、家庭の問題などについて相談を受けます。

● 日時 9月19日(水)

午前10時～午後3時

● 会場 黒川公民館

● 相談担当

人権擁護委員 森戸妙子

法務局職員 谷元徳子

● 問合せ

市人権・同和対策課

(☎2111内線244)

パーキンソン病 友の会記念講演会

パーキンソン病友の会佐賀支部は、創立10周年記念講演会を開催します。ぜひご参加ください。

● 日時 9月29日(土)

午後1時半～3時半

● 会場

佐賀県勤労者福祉会館

● 定員 200人

● 参加料 無料

● 講師

石川牧子さん(日本テレビアナウンサー部長)

● 講演内容

「遠距離介護 東京～仙台

パーキンソン病との7年間の闘い」
● 問合せ
佐賀県難病連絡協議会
(☎095229760)

遊びにきませんか 波多津みなと祭り

● 日時 9月22日(土)

午後1時～

● 会場 波多津港

● イベント内容

物産店、いろは島クルージング、パーベキューコーナー、鯨肉販売、和船ろこぎレース、カ

ラオケ大会、バルーン係船乗船体験、花火大会

● 問合せ 波多津みなと祭り

実行委員会(波多津自動車の田中☎0023)

磁気ディスクで支払 調書を提出できます

● 対象者
支払調書などの提出枚数が一度に250枚以上になる事業者

● 磁気ディスクの種類

フロッピーディスクまたはMO

● 対象となる支払調書

▽給与所得の源泉徴収票

▽報酬、料金、契約金、賞金の支払調書

▽不動産の使用料などの支払調書

▽利子などの支払調書

▽生命保険契約などの一時金の支払調書

▽生命保険契約などの年金の支払調書

▽株式などの譲渡の対価の支払調書

▽国外送金などの調査

● 手続方法
所定の承認申請書を提出してください

● 問合せ 福岡国税局課税総括課(☎092・411・0031)または伊万里税務署(☎3149)

※期間中無休
● 会場 市歴史民俗資料館

● 入場料 無料

● 《記念講演会》

● 日時 10月6日(土)

午後1時半～

● 演題

『伊万里の植物たち』

● 講師 川浪 誠さん(県立宇宙科学館研究指導員)

● 会場

市生涯学習センター

● 問合せ 市歴史民俗資料館

(☎27107)

あなたは大丈夫？ 自動車賠償保険

自動車損害賠償責任保険(自賠責)は、万一の交通事故の際の基本的な対人賠償を目的として、バイク・原動機付自転車を含むすべての自動車の保有者に加えが義務付けられている強制保険です。

無保険車の運行はドライバーの基本マナーに反するばかりでなく、罰則の対象になります。特に車検制度のないバイク、原動機付自転車は「期限切れ」「かけ忘れ」にご注意ください。

● 問合せ

九州運輸局佐賀陸運支局
(☎0952297271)

甲種防火管理者 資格取得講習会

消防法の規定による甲種防火管理者の資格取得講習会を開催します。

集会場、店舗、ホテル、病院、学校、事業所、その他多数の人が出入り、勤務、または居住する防火対象物では、防火管理者の資格を持つ人の選任が必要です。
なお、受講対象者には制限はありません。

●日時

9月19日(水)、20日(木)

午前9時〜午後4時

●会場 市消防本部

●定員 50人

※定員になり次第締め切り

●受付期間 9月1日〜13日

●申込・問合せ

市消防本部予防課(☎234311)または各分署

育成資金の無利子貸付・介護料支給

自動車事故対策センターでは、自動車事故が原因で死亡した人、または重度の後遺障害が残った人の子どもを対象に育成資金の無利子貸付けを行っています。

《無利子貸付》

●対象者 0歳から中学校卒業までの子ども

●貸付額 一時金 15万5000円

月額 20000円

小・中学校入学時

4万4000円

●期間 貸付けが決定した月から中学校卒業の月まで

●利子 無利子

●返還期間 20年以内

●返還猶予 中学卒業後、高校・大学などに進学した場合

合には、在学期間は返還を猶予できます

《介護料の支給》

自動車事故による重度後遺障害者を抱える家族へ介護料を支給します。

●支給条件 頭部、脊髄または胸部腹部臓器に損傷を受け、一定の基準に合致する患者を抱える家族介護者

●支給額

▽常時要介護の人

月額5万8570円

▽随時要介護の人

月額2万9290円

5万4000円

●問合せ

自動車事故対策センター

賀支所(☎095229023)

ぼしゅう

参加してみませんか 伊万里歴史探訪

●期日 10月14日(日)

●集合 午前8時50分

伊万里市民会館

●探訪地

歴史民俗資料館「ふるさと伊万里の生きもの展」、久原のシバナ、久原のチャボイ、大平山公園など14ヶ所

●対象者 小学生以上の市民

●定員 45人

●参加料 無料(弁当、水筒などは各自持参)

●申込期限 10月10日(水)

●申込・問合せ 各町公民館

または市生涯学習課

(☎23111内線453)

初級韓国語教室を 開催します

●期間 毎週火曜日

10月2日〜3月26日

●会場 市民センター

●対象 高校生以上の市内在住の人、また市内に勤務する人

●募集人員 30名

●受講料 月額1500円

※テキスト代は別途個人負担

平成13年度佐賀県 科学技術奨励賞

●対象

科学技術に関する学術振興または人材育成やネットワー

ク構築など、科学技術の普及・啓発に関し、県内外

で活躍する個人・グループ

●募集方法

公募(自薦・他薦は問いません)

●募集期限 9月30日(日)

●応募・問合せ

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 県経済部

新産業課科学技術担当

(☎0952297129)

森林と緑の フォトコンクール

●県は、平成14年秋に嬉野町で開催する「第26回全国育樹祭」を記念しフォトコンクールを実施します。

●あなたの視点でとらえた佐賀の美しい森林・緑の写真を応募してみませんか。

●応募方法

作品の裏面に、必要事項を記入した所定の応募票を貼り、実行委員会事務局へ郵送または持参してください

※作品は平成13年1月以降に撮影したもので、未発表のものに限りです

●応募・問合せ

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 (県森林整備課全国育樹祭室内) 第26回全国育樹祭佐賀県実行委員会事務局

(☎0952297160)

●テーマ

▽22世紀に引き継ぎたい佐賀の森林・緑

▽森林・緑と人とのかわり・ふれあい

●応募資格

県内在住の人、または県内に通勤、通学している人

●応募部門

▽中学生以下の部

▽一般(高校生以上)の部

●応募規格

▽中学生以下の部

▽一般(高校生以上)の部

●応募方法

カラー四つ切りサイズ

▽一般(高校生以上)の部

※デジタルカメラは不可

●応募期限 平成14年2月28日(木) 必着

●応募方法

作品の裏面に、必要事項を記入した所定の応募票を貼り、実行委員会事務局へ郵送または持参してください

●応募・問合せ

〒840-8570 佐賀市城内1-1-59 (県森林整備課全国育樹祭室内) 第26回全国育樹祭佐賀県実行委員会事務局

(☎0952297160)

9月の行事

市民センター ☎23911

- 2日(日) 伊万里中学校プラスバンド部
定期演奏会 13時半 無料
- 8日(土) 佐賀県がん予防
県民のつどい2001
13時半 無料
- 15日(土) 伊万里町敬老会
10時 関係者
- 23日(日) 啓成中学校プラスバンド部
演奏会 13時半 無料
- 24日(月) 「はくらくわく映画探検団」
特別授業編～小林監督講演会と上映会～
10時 無料
- 29日(土) 長野由子とオールウェイズ
コンサート〈市文化祭参加〉
18時半 500円

市民図書館 ☎234646

- 6日(木) 一映 「ロイドの人気者」
13時半 無料
- 12日(水) 一映 「ロイドの人気者」
13時半 無料
- 16日(日) 一映 「フェイス/オフ」
13時半 無料
- ◇子ども放送局(番組上映)
8日(土) テーマ「気象」
10時半 無料
- ※毎週土曜日 お話し会 14時半～
- ※都合により上映時間を変更することがあります

市民相談

会場：市民相談コーナー
時間：10時～15時 無料・秘密厳守
※法律相談の受付 当日午前8時半～

- 法律 (木) 6.20
- 交通事故 (火) 11
- 行政 (水) 19
- 人権 (火) 4.18
- 身障者 (月) 17
- 消費生活 (月) 3.10.17.25(火)
- 女性就業 (水) 5.12.19.26
- 社会保険 (金) 7.14.21.28

(会場：第1面接室)

- ボランティア相談…毎週月曜日
10時～15時 会場 市民ロビー
- 緊急巡回労働相談…毎月第3火曜日
10時～16時 会場 市民ロビー

「困ったな」「おかしいな」と
思った時は、お気軽に市民相談
コーナーへご連絡ください。

☎232111 (内線226)

カルチャー入門講座 茶道教室

- 対象者 市内または市近郊に住んでいる人
- 会場 市民センター
- 定員 24人
- 開講日(全10回開講)
10月～12月の毎週月曜日
- 開講時間 午後6時～8時
- 受講料 5000円
- ※お茶、お菓子代は別途必要
- 申込期限 9月21日(金)
- 申込・問合先 市民センター(☎23911)
- 対象 市内在住の一般男女
- 参加料 1000円(スポーツ保険料を含む)

- 開催時間 午後7時～9時
- ①バドミントン教室
- ▽期間 10月10日～11月7日
日の毎週月・水曜日
- ▽会場 国見台体育館
- ▽定員 30人
- ②テニス教室
- ▽期間 10月10日～10月28日
日の毎週日・水・金曜日
- ※日曜日は午前9時～正午
- ▽会場 国見台庭球場
- ▽定員 40人
- ③弓道教室
- ▽期間 10月10日～11月7日
日の毎週水・金曜日
- ▽会場 国見台弓道場
- ▽定員 10人
- 申込期限 10月5日(金)
- 申込・問合先 市体育保健課(☎232111内線465)

ふるさとへの シーカヤックレース

- 市内郵便局は、伊万里湾大橋開通プレイベントとして、シーカヤックレースを開催します。ぜひご参加ください。
- 期日 9月16日(日)
11時レース開始
- コース 相生橋～伊万里湾大橋往復の約15キロ
- 申込方法 市内郵便局の窓口においてある所定の申込用紙に必要事項を記入し、大会当日に受付場所に持参してください
- 受付場所 敬徳高校
- 受付時間 午前9時～10時
- 種目 シングル部門(男子・女子の部)

ご応募ください 元気な赤ちゃんの写真



昨年度の最優秀作品

- ▽ダブル部門(男女混合または大人と小学生)
- 問合先 シーカヤッククラブの中村(☎090-4994-9224)
- 写真対象 市内在住の2歳児までの赤ちゃん(8月31日現在)
- 写真のサイズ 2L
- 応募方法 赤ちゃんの住所・氏名・生年月日と、応募者の住所・氏名・電話番号を明記のうえ、郵送または持参してください
- 応募点数 一人1点
- 応募期限 10月12日(金)
- ※作品の返却はしません。また、上位入賞者に賞品、入賞者以外にも参加賞を用意しています
- 応募・問合先 市健康増進課医療保険係(☎232111内線223)
- 「ふれあい健康福祉まつり」
11月11日(日)に開かれる



青島への旅行の時の写真です。アゴの傷わかりますか。

わたしは帰国してすぐに、元の職場に復帰しました。わたしの仕事は、日本から大連に技術指導にいらっしゃった専門家のお世話と通訳です。専門家の先生の話は専門用語がたくさん出てきます。だから毎日とても苦労しています。それは一生懸命にがんばらないと、思うような仕事ができません。でもほんとうによか勉強ばい。

さて、急に話は変わりますが、今年のゴールデンウィーク（ちょっと古くなりますが）皆さんはどんな風に過ごしましたか。わたしは友だち8人で、中国国内旅行です。山東省の青島（チンダオ）市まで行きました。青島は日本でも有名な『チンダオビール』の産地です。わたしは生まれて初めて大きな船に乗って旅に出ました。だから少し興奮していたのかもしれない。何とわたしは派手に転ん

皆さん、こんにちは！
大家好（ダージャーハオ）
わたしは、伊万里とは6か月ぶりの元大連市公務研修生の姜楠（姜ちゃん）ですよ。この6か月間、よく伊万里のことを思い出しています。そして、周りの人たちに伊万里のことをどんどんPRしています。わたしは、ほんとうに徹底的な『伊万里ファン』ばい。

大連市国際人材交流協会

姜楠さん

皆さん お元気ですか



故郷・伊万里から遠く離れて仕事などに頑張っている伊万里出身者がいらつしゃいます。また「伊万里」という語感が好きで、これを店名にされているお店なども数多くあります。
このコーナーでは「伊万里」と縁が深いみなさんのお便りをご紹介します。

でしまいました。結果はアゴがすごく腫れて、旅行の間中ずっと痛かったのですが、遊びたい気持ちの方が強かったらしく、楽しい旅でしたよ。家に帰ると母から「いつまでたっても落ち着きがなく、ちっとも大人にならないねえ」と言われてしまいました。そうかなあ。伊万里ではけっこう「大人だね」と言われていたのですが…

さて、旅行と言えば伊万里にいた1年間、よく遊びに連れてってもらいました。別府の温泉地獄、熊本城や阿蘇、長崎などの観光地。それから平戸で見たツツジの花や生月で食べた海鮮料理も忘れられません。ほんとうに楽しい思い出がいっぱいです。今でも、その時に撮った写真をひとりながめていますよ。

今わたしにとつて、いちばん大事なことは仕事です。一日でも早く海外出張にも出られるような通訳になって、伊万里の親切な皆さんと再会したいと思います。がんばります。

最後に、伊万里のますますの発展と、皆さんのご健勝をお祈りいたします。

今月の焼物

染付秋草文皿

木盃形をした典型的な鍋島の尺皿です。このように秋草を描いた作例は、鍋島では比較的多く見られますが、染付尺皿の例はほかに知られていません。全体の構成は、画面の下半部を二分割し、それを左右で段ちがいにしています。そこに薄い染付で地表面を描き、そこから萩などの草花類を描き上げています。萩の花房や枝葉を濃淡の染付で描き分けるなど、染付手法の優れた作品です。

編集室から

今回つくづく子どもたちに教えられました。それは、今特集した「伊万里サマーキャンプ」でのこと。ひとりの子がふともらって「今まで一生懸命やることは、グサイと思っちゃいました。でもやりとげてみて、そのすばらしさを知りました」というひと言に、ガンと頭を殴られたような感覚を覚えました。自分は果たして、何かに一生懸命になっているだろうか。キツイ、グサイと思ってる逃げているのだろうか。指導者のひとりとして参加したのに、子どもに教えられるなんて…。(V)

人のうごき

平成13年8月1日現在	
●人口	59,854人 (+ 28)
男女	28,523人 (+ 1)
31,331人 (+ 27)	
●世帯	20,185世帯 (+ 17)
	() は前月比

広報伊万里 2001-9
発行日/平成13年9月1日
発行編集/伊万里市役所秘書課広報係 (0955)23-2111
〒848-8501佐賀県伊万里市立花台1-1-1
伊万里市のホームページ
http://www.saganet.ne.jp/imari/
印刷/株式会社三光